



# 学校だより

令和 5 年 10 月 27 日

学 校 教 育 目 標

11 月 号

ともに学び、創り出し、行動する子 = 輝く自分、輝く鶴小 =  
横浜市立 鶴ヶ峯小学校

(<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsurugamine/>)

## 実りの秋に

校長 渡辺 正規

カキ、ミカン、ザクロ、ギンナン、ナツメ、ヤマブドウ、カヤ、クルミ。これら本校にある木の実が今、たわわに実っています。まさに秋本番です。子どもたちは、目前に控えた一大行事に向けて熱心に練習を重ねてきました。

「『飛翔』の演技を最高に格好よくしたい。」「『台風の日』では、3年生にやり方を教えています。」「かけっこで1番になりたい。」等々。スローガンにある「みんなが輝く」に近づくために頑張っていることや、頑張りたいことを子どもたちに聞くと、各々が目を輝かせて答えてくれました。

先輩への憧れから、それを超えたいという気持ち。昨年度の経験から、今度は伝える番だと意識している子。初めての小学校での運動会に胸躍らせている子。みんながめあてをもっています。

今年度復活した応援団、徒競走、高学年騎馬戦。新しく入った「つるがみね体操 やってみよう！」は子どもたちと一緒に考えたものです。午前だけの開催こそ変わりませんが、声出しが可能になり、参観人数に制限がなくなりました。インフルエンザの流行には悩まされましたが…。昨年度の振り返りを生かし、児童の実態を考えた上で決めていきました。縦割り活動を大切にしながらも、より体育的なものにしようと、名称も「ゆめつる運動会」です。さらに、冠に「祝65周年」が付く記念の大会でもあります。

中には「家の近くの公園でおうちの人と走る練習しています。」という子もいました。演技にしろ、競技にしろ、ご家庭でも話題にあがったり、一緒に練習したりと、様々なかかわりやドラマがあったのではないのでしょうか。その中には「やりたくない。」という子もいたでしょう。その言葉に寄り添い、励ましてくださったことに感謝いたします。

苦手なことにも、めあてをもって粘り強く取り組むことはこの運動会の指導でも大切にしているところです。少しでも楽しかったと思えればさらにしめたものです。勝敗を素直に受け入れ、相手を称えたり、次につなげようとしたりすることができる心を育みたいのです。

あたたかい応援をよろしく願います。子どもたちが力を出し切って、心身ともに一回り成長できる、実りある秋の一日になりますように。